

昼生小だより

令和3年12月22日 No. 22

冬休みが始まります！

12月23日に、2学期の終業式を行います。新型コロナウイルス感染拡大により、9月は臨時休業からのスタートでしたが、こうして無事に終業式を迎えられるのも、保護者の皆様、地域の皆様のおかげと深く感謝しております。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、日々の学校生活や様々な行事を工夫しながら実施してきました。やむを得ず、中止や延期、規模縮小となった行事もありましたが、できなかったことに目を向けるのではなく、できたことを振り返り、それを通して成長した子どもたちの姿を喜び合いたいと思います。

24日から始まる冬休みは、クリスマスや年末年始を挟むこともあり、子どもたちにとっては楽しいイベントがたくさん待っているのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症はいったん落ち着いたように見えますが、この年末年始の過ごし方がその後の感染状況を左右すると言われています。どうぞ、ご家族で感染予防に努めていただき、有意義な冬休みをお過ごしください。



お願いします



次のことについて、引き続き、ご注意ください。

- ①十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事
- ②こまめな手洗い・うがいの励行
- ③毎朝の検温と健康チェック（これまで通り入力してください）
- ④マスクの着用（外出時・会話する時・人との間隔が不十分な時）
- ⑤こまめな換気
- ⑥3密（密閉・密集・密接）の回避

おらせ

冬季休業中の学校閉校日は、12月27日（月）・28日（水）、1月4日（火）～6日（木）です。

土日祝日、学校閉校日にお子様がPCR検査の受検、濃厚接触者に特定された等の場合には下記に連絡してください。ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

連絡先

亀山市の代表電話

☎0595-82-1111



手作りポーチが完成しました

まちづくり協議会福祉部からの依頼を受け、毎年、6年生が地域の一人暮らしの高齢者の方々にプレゼントを作っています。これまではクッキーを作っていましたが、このコロナ禍で、昨年度から食べ物は控えています。6年生と相談をして、今年は、ハンカチやティッシュ、鍵など小物を入れられるようなポーチを作ってプレゼントすることになりました。

事前に、まちづくり協議会福祉部の方にお越しいただき、昼生地区の高齢者の状況や「友愛活動」の意義などについてお話を聞きました。子どもたちは、お話を聞いて、プレゼント作りへの意欲を高めたようでした。家庭科の時間を使って、みんなでコツコツと作りました。フェルトでワンポイントに飾りも付けました。高齢者の方へのメッセージカードと共にラッピングをして完成させました。

福祉部員さんや民生・児童委員さん、PTA地区委員さんらにお世話になり、子どもたちは、一人暮らしの高齢者宅にポーチをお届けに行きます。喜んでいただけると嬉しいです。また、こうした取組を契機にして、地域の高齢者の方々と子どもたちがつながっていけたら更に嬉しく思います。



頑張って作りました。使っていただけると嬉しいです。



うれしい連絡がありました

先日、学校に嬉しい連絡をいただきました。通勤途中に、信号のない道路を横断する昼生小の子どもたちに出会うそうです。そして、その方は、いつも車を停めて子どもたちが横断するのを見届けてくださっているそうです。渡るときはもちろん、渡り終えた後に車の方を振り返り、お辞儀をする子がいるのだと教えていただきました。その様子に大変感心していると伝えていただきました。

折しも、前日の学校運営協議会の場で、あいさつのことや停まってくれた車の人にお礼をする他の学校の子どものことが話題になっていました。そこで、昼生小の子どもたちもそれができるようになってほしいといった声をいただいていたところだったのです。この嬉しい連絡のことは、早速子どもたちにも伝えました。当たり前のようにこんな振る舞いができる昼生っ子が増えていくと嬉しく思います。